

こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.141

地区人権学習会への参加ありがとうございます

今年度で四〇回目を迎えた地区人権学習会は、各区長さんをはじめ地区の役員さん方のお力添え、そして、市民の皆様のご理解をいただき予定通り進んでおります。おかげで、参加者数も昨年度を上回るのではないかと思います。参加いただいた皆様、これから参加される皆様に感謝申し上げます。

今年度の地区人権学習会は、部落差別解消法の施行を受けて、部落差別の問題に焦点を当てました。そして、学習会の形態も、グループ討議を取り入れた参加型の学習会にしようと考えてきました。

■参加型学習会のねらいは？

地区学習会では、「グループ討議をする」と嫌がるんですよ」という話を聞くことがあります。しかし、今年度、私は四地区の学習会に出向きましたが、どの地区でも止めていただくのが申し訳ないほど熱心に話し合いをしていただきました。話し合いの中では、視聴したDVDの感想をはじめ、それぞれの経験や意見が出されていました。

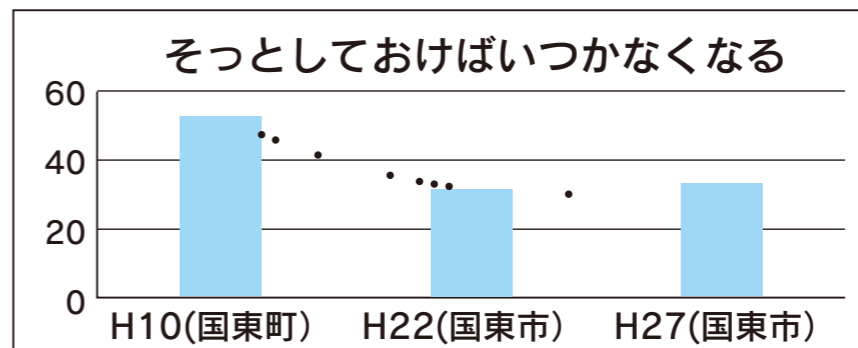
講師の話を通じ、新しい学びがあることは、もちろん価値があります。同じように、身近な地域の仲間の様々な考えを知り、自分自身を振り返ることで、新たな気づきを得ることも価値の

あることではないでしょうか。

■部落差別の問題は、そっとしておけばいつかなくなるのでしょうか？

明治四年に「解放令」が出されて一五〇年が経とうとしています。

更に、同対審答申が出され同和対策特別措置法が制定されて五〇年を迎えます。この間、世代は変わりましたが、部落差別の問題は残されたままです。部落差別の問題は、「そっとしておいても、な



くならない」のです。国東市の意識調査によると、平成一〇年(旧国東町)には、約五割の人が「そっとしておけばいつかなくなる」と考えていました。最近の調査では約三割になっています。この変化は、これまでの市民の皆さんの学習の成果だと思います。しかし、決して十分とは言えません。

私たちは、この状況を更に改善していかなければなりません。

■差別の問題は、誰の問題なのでしょうか？

部落差別の問題で「自分は差別しない。自分には関係ない」という方がいますが、そのなかで、

部落差別をはじめとする全ての差別の問題は、差別される側の問題ではなく、差別する側の問題です。差別されている側の努力で、問題が解決することはありません。差別を残したのは、それを許してきた社会とそれを構成するすべての人々です。差別の問題を解決するためには、私たち一人ひとりが問題にきちんと向き合い、正しく学習することが大切です。そして、日常生活の中で差別を許さない態度・行動をとることが必要なのです。

私たち市民一人ひとりの力で、生まれてよかった、住んでよかったと言えるまちづくりを進めていきましょう。

(文責：社会教育課 田中)

●第11回国東市隣保館まつり

「ついでに川柳」

赤ちゃんの笑顔弾ける腕の中

今日もまた

笑顔でタッチおはようさん

国東町 花木 陽子
武蔵町 平川 佳代子

市長日記

『職員の頑張りに感謝』

国東市長 三河 明史

No.81

平成30年元旦、何時頃だったか、手元のスマートフォンにメールの着信がありました。開けてみると、市役所のふるさと納税担当係長。そこにはこう書かれていました。「ふるさと納税の寄付額が、概算ですが、12月末で28億2千万円になりました。年度末までに30億に届きそうです」

私の方が驚きました。28億円、これはとてつもない数字なのです。国東市は、返礼品に市内で生産された高級デジタルカメラを入れていました。このカメラは威力を発揮し、28年度の国東市へのふるさと納税約25億円のうち、4割強がこのカメラを希望する方からの申し込みでした。ところが、昨年5月、総務省から大臣名で、「ふるさと納税の返礼品が、過当競争状態になっている。返礼率を3割以下に抑え、電化製品や高級家具、商品券など高額商品や換金性の高いものは止めるように」という趣旨の通知が来ました。

私は、「返礼品のカメラは国東産であり、このカメラが売れば、地元若者の雇用が増え、法人事業税が増える。それぞれの自治体で判断することであり、それが地方自治ではないか」という市の意見を伝えるため総務省市町村税課へも出向きました。しかし、不本意ながら結局は通知を受け入れ、カメラの取扱いを10月2日限りで止めていたのです。ですから、昨年の25億円を超えることすら難しいと考えていました。でも担当者達は、諦めないで色々と工夫してきたようです。その努力の結果がこの金額を生み出したのでしょう。このおおよそ4割が国東市の会計に入るとしても、残りのお金も大部分が地元で落ちるのです。地元の生産者や販売者の懐に入るわけですから、これほど嬉しいことはありません。会計に入るものもこれまででは、ゼロであったものが11億12億円になります。また、これによって、生産者の人たちもより多く買ってもらうために、良いものを作ろうと更に努力してくれるでしょう。

私たちは、この貴重なお金を大事に大事に地域振興や教育、子育てに有効に投資しなければなりません。担当職員たちは、課長以下、正月も二日を休んだだけで事務処理に出てきています。この職員達の頑張りに、そして高品質産品を生産してくれる生産者の人たちに感謝申し上げます。

国東市議会議員選挙

投票日 4月15日(日)

任期満了による国東市議会議員選挙が行われます。今回の選挙から定数が20人から18人へ変わります。

【立候補予定者説明会】

市選挙管理委員会では、市議会議員選挙に立候補を予定している方などを対象に、下記の日程で選挙に関する留意事項や届出の手續等に関する説明会を開催します。

日時 平成30年2月24日(土) 午前10時
場所 アストくにさき アグリホール
その他 説明会の出席者は、1候補者につき2人までとします。

【告示日】 平成30年4月8日(日)

【問合先】 国東市選挙管理委員会 ☎0978-72-5199